

普及技術
分類名〔草地飼料〕

普 15	ペレニアルライグラス奨励品種「夏ごしペレ」
------	-----------------------

宮城県畜産試験場

要約

ペレニアルライグラス品種「夏ごしペレ」は、夏枯れ耐性が低いペレニアルライグラスでありながら、県内において優れた越夏性を示した。

普及対象：放牧を行う畜産経営体および公共牧場
普及想定地域：県内全域

1 取り上げた理由

新たに育成された品種の県内利用適応性を把握することを目的とした試験を行った結果、「夏ごしペレ」が県内において優れた越夏性を示し、その有用性が確認されたので普及技術とする。

2 普及技術

(1) ペレニアルライグラス「夏ごしペレ」を奨励する。

(2) 「夏ごしペレ」の主要特性は以下のとおり。

イ 放牧利用を想定した多回刈り試験において、「夏ごしペレ」の合計乾物収量は、奨励品種の「フレンド」と比較して11%多収だった（表1）。また盛夏後の6番草以降の各番草で「フレンド」と比較して乾物収量が多収となった（図1）。

ロ 周年利用放牧地にて行った現地実証試験の結果、「夏ごしペレ」は「フレンド」と比較して7月以降優れた草勢及び10月時点での低い雑草割合を示し、越夏性の高さが確認された（図2）。

ハ 場内の放牧地にて、放牧牛の採食行動履歴（1aあたりの滞留時間）を比較したところ、有意差は認められず「夏ごしペレ」は「フレンド」と比較して同等程度の嗜好性を有する（図3）。

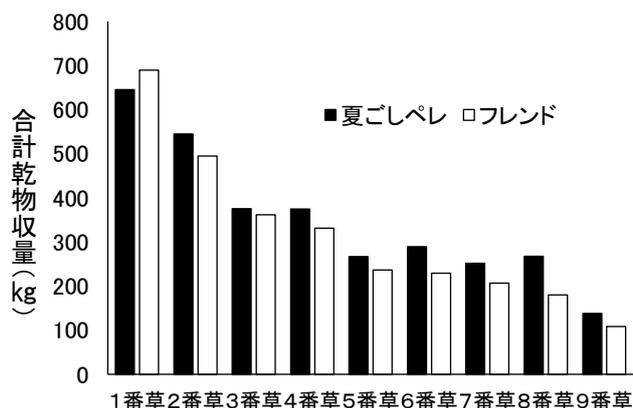


図1. 番草ごとの合計乾物収量(平成27～平成29年)

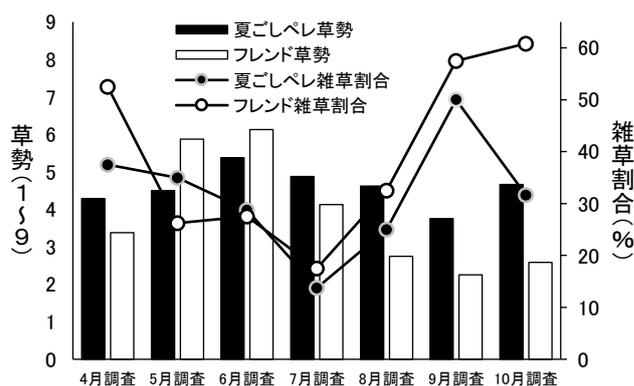


図2. 草勢及び雑草割合(平成29～令和元年)

3 利活用の留意点

(1) 栽培管理については、「夏ごしペレ栽培マニュアル（寒冷地暫定版）」および「牧草・飼料作物（県奨励品種）栽培の手引き」を参考とすること。

(2) 採草利用する場合は、耐倒伏性に劣るため、1番草を穂ばらみ期に収穫すること。

（問い合わせ先：宮城県畜産試験場草地飼料部 電話 0229-72-3101）

4 背景となった主要な試験研究の概要

(1) 試験研究課題名及び研究期間

農林水産省事業「イノベーション創出強化研究推進事業」（うち「寒冷地・温暖地における高品質多年牧草の育成と利用年限延長のための技術確立（平成27～令和元年度）」）

(2) 参考データ

表1 多回刈りにおける収量性

品種名	年度	生草収量 (kg/10a)	乾物率 (%)	乾物収量* (kg/10a)
夏ごしペレ	H27	6,323	16.8	1,062(104)
	H28	6,256	15.9	995(111)
	H29	6,833	16.1	1,097(118)
	合計	19,412		3,154(111)
フレンド (標準)	H27	5,536	18.4	1,017(100)
	H28	5,304	16.9	896(100)
	H29	5,491	16.9	926(100)
	合計	16,331		2,840(100)

* ()内は、標準対比

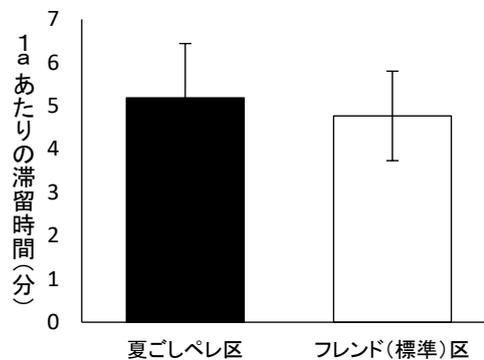


図3.採食行動履歴の比較

(3) 発表論文等

イ 関連する普及に移す技術 なし

ロ その他

令和2年度 宮城県家畜保健衛生業績発表会

(4) 共同研究機関

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構